

市報

とよかまち

平成4年

6.10

No.428

主な内容

- ▶十日町・コモ姉妹都市
交流協会……………P2・3
- ▶市の施設見学会のご案内……………P4
- ▶お知らせ……………P10・11

発行／十日町市役所
〒948 新潟県十日町市
千歳町3丁目3番地
TEL (0257) 57-3111
編集／総務課文書広報係





昨年9月6日に盛大に行われた発会式

交流協会員を募集

■問い合わせ 十日町商工会議所 (☎57-5111)

個人会員 (年間) 2,000円 法人会員 (年間) 10,000円

十日町・コモ姉妹都市交流協会が発足して十カ月

新たな姉妹都市関係を求めて

コモ市との姉妹都市関係をより充実・発展させるため市民による十日町・コモ姉妹都市交流協会が発足して十カ月。民間レベルによる交流と国際交流の基盤づくりを目指して、各種事業を進めています。中でも、今年度の大きなテーマである今後の交流のあり方を探るため、コモ市へ六名を派遣しました。今月は、多彩な事業を運営しながら、市民ぐるみで取り組みが始められた交流協会を紹介します。



十日町・コモ姉妹都市交流協会が発足

十四回にわたる公式訪問

昭和五十年二月コモ市と姉妹都市盟約を結び、正式交流をスタートさせて今年で十七年目を迎えました。この間、両市の行政主導による使節団の派遣、青少年交流、芸術家の派遣、芸術作品の交換など親善交流を進めてきましたが、昭和六十年八月以来コモ市からの使節団や青少年の来市が途絶えています。平成二年十月に盟約十五周年を記念した親善使節団(池田収入役団長)の報告によると、経済交流を求める声や青少年交流

の経費負担などの課題があり、今のままでの交流に消極的であるとの印象を受けてきました。そして、民間レベルでの交流、国際交流への基盤確立が課題であると報告されました。市の重要プロジェクトである当間高原リゾートは、コモ市をイメージしたもので、より一層の友好親善が必要になってきます。また、次代を担う子供たちに国際感覚を身につけてもらうためにも、積極交流を図らなければならぬ時期を迎えました。このような状況の中で、昨年九月、民間相互で幅広く、心の通い合った交流を積極的に進めるため、一般市民や企業参加による十日町・コモ姉妹都市交流協会が設立されました。

コモ市との交流の歩み

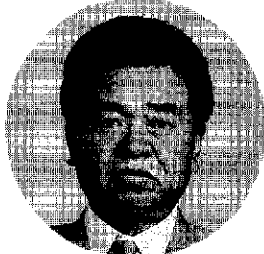
- 48・9*絹織物親善使節団(石坂正隆団長) 19名コモ市訪問。
- 49・2*コモ市使節団12名来市。
- 9*姉妹都市提携市議会で議決。
- 11*コモ市議会においても議決。
- 50・2*親善使節団(団長・春日市長) 28名コモ市訪問。姉妹都市盟約書に調印(27日)。正式交流がスタート。
- 52・2*民間親善使節団(桑原茂喜団長) 33名コモ市訪問。
- 53・11*イタリア政府派遣の音楽家によるコンサート開催。
- 35・10*提携5周年を記念し公式親善使節団(団長・諸里市長) 19名コモ市訪問。
- 56・5*スパーノ市長を団長とするコモ親善使節団20名来市。姉妹ロータリー提携調印式。
- 57・3*「トリオ・デ・コモ」が二度目の来市。
- 57・8*青少年親善使節団(根津勝団長) 6名コモ市訪問。
- 11*コモの青年マルコ・サンビエトロさんコモ市長のメッセージ携え来市。
- 58・5*諸里市長夫婦ほか2名がヨーロッパ抵抗運動記念碑除幕式に出席のためコモ市訪問。
- 8*青少年親善使節団(ジョバンニ・アノニ団長) 6名が来市。夏まつりで

民間交流・国際交流 の基盤づくりを

目指す

多彩な事業で友好親善

設立された交流協会は、経済・産業・青少年・スポーツなどコモ市との姉妹都市関係を一層充実・発展させるための基盤づくりを進めています。これまでに、十数回にわたる会議とイタリア大使館・政府観光局などへの訪問、先進地である群馬県甘楽町への視察やコモ市訪問者からのアンケート調査など情報収集を



十日町・コモ
姉妹都市交流協会 会長
吉沢 慎一

回りはじめた 交流の歯車

当会が昨年九月に、各位からのご支援により発足をさせて頂きましてから早くも十カ月目となりました。その間、民間による姉妹都市交流とはどんなこと

手がけてきました。あわせて会員募集と広く市民に理解と協力を願うためのPR活動を行ってきました。

今年度は、これまでの研究をもとに中・長期計画を立て、具体的な活動に入っています。その主な事業の内容は――。

- ◆姉妹都市提携の理解・普及事業
- ①会員増強事業：目標会員・個人・一三〇人 法人・六〇社（昨年度末 個人・七二人、法人・一二社）
- ②コモ市人員派遣事業
- ③コモ市情報コーナー設置事業（市役所ロビー）
- ◆市民・各種団体の交流事業

が出来るのか、なにをする必要があるのか？事務局を中心にイタリア大使館や先進姉妹都市の視察を行い、情報の収集を行ってまいりました。そして現状での一番大切なことは、コモ市と十日町市との双方の交流の歯車が円滑に回ることが肝要として、六月五日よりコモ市側の民間交流の窓口開設要望を主眼とした六名の使節団を派遣いたすこととなりました。

お陰様にて交流の芽は各分野にわたり徐々に伸びてまいりました。今後共市民各位の一層のご支援をお願い申し上げます。

- ①二十周年「市民文化使節団」訪問旅費積立事業
- ②交流基金造成事業
- ③絵画交換コンクール推進事業

- ◆交流の知識に関する教育事業
- ①イタリア語教育研修事業
- ②食習慣知識向上事業（イタリアンフェア開催）
- ◆広報・その他事業

- ①情報紙発行（年四回）
 - ②イベントでの会員募集とPR活動
- これらの事業を行い、市民に積極的に呼びかけ基盤づくりを進めるとともに、コモ市への働きかけを行う予定にしています。

民間交流の 橋渡しを担って

「コモ市訪問団」を派遣

交流協会の最も重要な取り組みである、民間交流事業がスタートしました。今後民間レベルでも活発に交流できるようその橋渡しを目的に、六月八日から十日まで村尾隆団長以下六名の交流協会員がコモ市を訪問しています。

一行は、コモ市長を表敬訪問し交流協会の発足と設立趣旨を報告します。そして、十月ごろ小・中学校児童・生徒の絵画展の開催と天使幼稚園と姉妹幼稚園になつてもらえる幼稚園の推

薦など、今後の交流のご協力を願います。また、経済界を含めた各種団体にお会いし、コモ市でも交流を進めるための団体の設置か連絡調整の窓口の設置をお願いします。そして、これまでに来市された方や交流に理解を持っている人に会い、今後の交流について話し合います。

このように重要な任務を担った一行は、現地で活発な意見交換を行い、橋渡しに懸命に努力しています。国際交流は、文化、風土、経済環境などの違いから、友好関係の継続や民間交流への歯車をうまくかみ合わせるには長い時間がかかります。今後とも市民の創意と工夫で、コモ市との親善をより一層深めるためご協力をお願いします。

コモ市訪問団

6月5日出発～13日帰国（コモ滞在8日～10日）

団長	村尾 隆さん(42歳)	村尾電気商会
団員	古澤 有子さん(42歳)	越路商事
リ	池田 則夫さん(38歳)	十日町市役所
リ	庭野 正行さん(34歳)	十日町商工会議所
リ	庭野 珠代さん(25歳)	栃木県高梁市ノード
リ	村山 ミネ子さん(49歳)	ジャパネフラスト



コモ訪問を目指し、イタリア語講座開催

- 58・4＊国際交流、文化スポーツ基金を設置。
- 59・9＊青少年親善使節団（柳幸一団長）5名がコモ市訪問。
- 60・8＊クラウディオ・ピアンキ市評議員を団長とする親善使節団11名が来市。
- 61・9＊10周年を記念し丸山市長を団長とする公式親善使節団14名がコモ市訪問。
- あわせて、青少年親善使節団（小林佳祐団長）6名も訪問。
- 62・8＊コモ市にある国立絹織物専門学校に2名が留学。
- 63・6＊提携15周年を記念し、池田収入役を団長とする公式親善使節団と青少年親善使節団（笠原実団長）23名がコモ市訪問。
- 3・9＊十日町・コモ姉妹都市交流協会設立。併せて、ボンジョルノ・イタリア'91を開催。

参加してみませんか

市の施設見学会



市内の公共施設や文化財、企業を訪れて、市政に関心を深めてもらうため、四つのコースを計画しました。おおぜいの皆さんの参加をお待ちしています。

- 定員 各コース共五十二人
(定員になり次第締め切ります)
- 集合時間 午前八時四十五分までに市役所一階へ。
- 参加費 一人一〇〇円(保険料)

ほかに申し込み時に払い込んでください。市役所までの交通費は参加者負担です。

■昼食 各自持参してください。
(A・Bコースは食堂があります)

■申し込み 六月二十二日(月)～七月十七日(金)までに、総務課文書広報係(☎57-3111)内線213・214へ。

見学コース

都合により、変更することがあります。

Aコース(公共施設中心に見学)

7月29日(水) 午前9時～午後4時20分

市役所～卸売市場～消防本部～衛生センター～下水処理センター～妻有大橋～クロス10(昼食)～博物館～総合体育館・武道館～特養ホーム「三好園」～下条中央公園～市役所

Bコース(企業中心に見学)

7月30日(木) 午前9時～午後4時

市役所～卸売市場～㈱エーワファクトリー～㈱ジャパンプラフト～きもの絵巻館～クロス10(昼食)～十日町ソフト開発㈱～協立ハイパーツ㈱～魚沼スカイライン～市役所

Cコース(文化財中心に見学)

7月31日(金) 午前9時～午後4時20分

市役所～積翠荘(せきすいそう)～鉢の石仏(はちのいしぼつ)～姿前放神社大ケヤキ(はねまはな)～安養寺松尾社大スギ・円通庵大スギ～平成園(昼食)～博物館～神宮寺～大井田城跡(おおいわたしろ)～高麗神社(こうらい)～市役所

Dコース(親子で見学)

8月9日(日) 午前9時～午後4時40分

市役所～博物館～きもの絵巻館～消防本部～塩之又森林公園(昼食)～大池ミティラー美術館～神宮寺～特養ホーム「三好園」～市役所

骨髄バンクは一筋の光

県下初のシンポジウムに四〇〇人



の中で生きています。血液型が合う提供者を登録するバンクは一筋の光なのです。(大谷氏と訴え、出席者は熱心に耳を傾けていました。)

パネル・ディスカッションでは、コーディネーターにNHK新潟放送局アナウンサーの金子拓氏を迎え、パネラーに県立十日町病院内科医長の樋口渉氏、新潟骨髄バンク推進連絡会議代表の金子和子氏、青年会議所の小林弘樹氏の三人が出席。骨髄バンクへの理解を熱く語り、また、会場からも質問がでるなど意義深いシンポジウムとなりました。

◆ご連絡ください◆

市内でも太田健介さんが骨髄提供者を待ち続けています。これまでに、〇〇〇名を超える方から検査をしていただき、五月三十一日現在八三三名の照合が確認されました。しかし、成分献血の検査結果が手元に届き、型の照合が済んでない方がおられるようです。手元に届き照合の済んでいない人は、太田健一(南磐坂・☎57-9410)までに、ご連絡ください。

講演では、実の弟を骨髄異常で亡くしたケント・デリカット氏と自身が骨髄移植を受けた東海骨髄バンク理事の大谷貴子氏がそれぞれ講演。「皆さんの愛の心を患者にあげてください」(ケント氏)、「患者はいつ再発するか分らない不安

平成4年度
〈最終年度〉

ふるさと創生1億円で地域おこし

まちづくり特別補助事業

4団体が採択

団体名(構成人数)	代表者名	計画事業費	計画の内容
枯木又青年会 (10人)	山田 栄	413千円	都市住民との交流の幅を広げるため、地元の若者や子供たちに文化を受け継ぎ、「自然観察池」や「自然観察の森」設置の可能性を調査・研究する。
縄文芸術の郷を 考える会 (12人)	佐野良吉	420千円	十日町市を「縄文芸術の郷」としての実態調査や環境整備を研究する。縄文芸術文化の創造とそのPR計画を探る。
大井田地区振興会	池田一吉	400千円	神宮寺境内を核にして、周辺環境整備の調査研究とイベントの企画。大井田文化を内外にPRするための調査研究。
下条地区振興会	長谷川吉二	534千円	貝ノ川周辺の総合プランをめざした調査・研究。(川遊びなどを中心とした水辺周辺計画等)

ふるさと創生1億円を有効に活用し、自ら考え自らい行い個性あるまちづくりを進めるため、市内の団体・グループにまちづくり計画を作る費用の一部を補助する「まちづくり特別補助事業」は、平成2年度から始まり、今年で最終年度となりました。

今年の応募の中から、六月一日(月)、審査委員会(市の庁議メンバー十一人で構成)で審査した結果、左表のとおり四つの団体・グループが採択になりました。

この三年間に採択された団体・グループは延べ十九団体となり、平成三年度までに四、二四四千円が補助され、今年度一、二〇〇千円が予定されています。団体主体の事業実施は、市の支援などにより逐次進めており、これまでに大井田氏サミットなどが行われました。今年度は、新座城山遊歩道、田毎の月周辺、下条温泉活用の各整備が予定され、着々と地元で創意工夫した事業が展開されます。また、平成四年度の地域づくり計画の今後の活動が期待されます。

笹山遺跡出土品、国・重文指定

記念講演会(祝う会)

◆日時 七月四日(土)午後一時半
◆会場 クロス10大ホール
◆会費 五、〇〇〇円
(火焔形土器テレホンカード付)

◆講師 小島俊彰 先生
(金沢美術工芸大学助教授)

◆演題 「縄文芸術にせまる」
―火焔形土器を再現して―

◆申し込み 六月二十五日(木)までに博物館(☎57-5531)へ。

火焔形土器を含む笹山遺跡出土品一括(九二八点)が、この度国の重要文化財に指定されました。

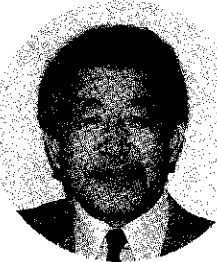
この重文指定を記念して、市と博物館友の会では講演会と祝う会を計画しました。

広く市民の皆さんとこの喜びをともにしたいと思っておりますので、多数のご参加をお待ちしています。

―講師プロフィール―

一九四二年、富山県生まれ。国学院大学に学び、現在、金沢美術工芸大学助教授。北陸を中心に、縄文時代の研究を行っている。主な論文に、「有孔球状土製品」(「縄文文化の研究」第九巻)など。＊TV番組にて火焔形土器の再現にいとむ。

教育委員会 全国・県連合会表彰



庭野四良治さん
(高田町・63歳)

庭野さんは、昭和五十六年十月から十年間、市の教育委員として活躍され、この度、全国と県連合会から表彰されました。

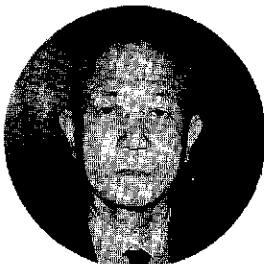
行政相談で 関東管区行政監察 局長表彰



岡田信郎さん
(中条島・70歳)

岡田さんは、昭和五十四年から行政相談委員として、行政に対する苦情の解決に尽力され表彰されました。

人権相談で 法務大臣から感謝状



武田文雄さん
(土市・70歳)

武田さんは、昭和三十三年二月から本年四月までの長きにわたり人権擁護委員として活躍され、法務大臣から感謝状が授与されました。

水害に備え小千谷市で 大規模な信濃川水防演習

～田村団長以下66名の消防団員が訓練に参加～

五月二十六日(火)、小千谷市の妙見坂左岸下流の河川敷で、建設省北陸地方建設局などの主催による「信濃川水防演習」が行われ、千三百人が参加しました。

十日町市からは丸山市長以下、市・消防署の関係者と田村久策消防団長をはじめとする六十六名の団員が参加しました。当日の工法演習は十一種目で、その内当市の消防団は木流し工など三種目に参加し、訓練の成果を披露しました。

その他、地元婦人会などによる炊き出し訓練や小学生による避難訓練、自衛隊と県警本部のヘリコプターによる救助訓練など、水害を想定した訓練が手際よく行われました。



小雨に濡る中、バターゴルフに挑戦

リゾート予定地珠川原を 運・知・体力で縦断

～ウォークラリーに親子連れなど97組が参加～

珠川原縦断ウォークラリーが、五月二十四日(日)リゾート開発予定地の珠川原で行われ、一般コース(約十*)に五十七組(二人一組)、ファミリーコース(約五*)に四十組が参加。この催しは、あてま塾が珠川原の自然、産業、歴史を知ってもらおうと企画したものです。

参加者は、珠川の人たちが見守る中、珠川集会所を次々にスタート。途中環境実験は場でバターゴルフの腕を競い、蚕の繭についてのクイズなどに挑戦しました。お昼に珠川の婦人たちから豚汁のサービスを受けた後、アスパラガス採りをして、珠川原の自然に触れ合いながら楽しい一日を過ごしました。



息の合った十日町市消防団、見事な木流し工を披露

話題アウカルト

クラブ活動

わたしたちの 国際交流クラブ



保坂綾子さん
(6年)

わたしたちの国際交流クラブは、今年からできた新しいクラブで部員が十三人います。

英語をおぼえて話せるようになることをめあてに、毎週のクラブの時間がんばって活動しています。その他の活動内容として、手紙を書いたり、英語の歌を歌ったり話す練習をしています。いつか、外国の人と会って話をしたいとも考えています。また、英語がうまく話せるようになって英語げきもしてみたいです。よその国のことを知るために、今度外国料理も作ります。

わたしは、よその国の人と手紙

わたしたちの 学校自慢

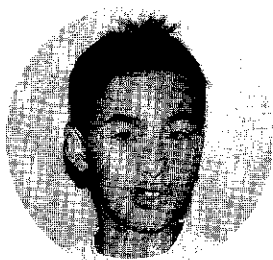
39

川治小学校

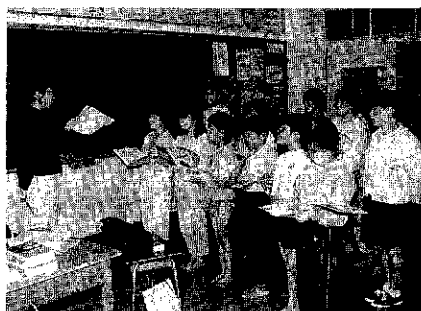
飯塚 勇 校長
児童数：471人

児童会

児童会の歌



佐藤憲司くん
(6年)



早く外国の人と友達になりたいな

のやりとりをしたり、英語がうまくなって、早くいろんな国の人と友達になりたいと思います。

ぼくたち川治小学校の児童会は、



妻有大橋開通イベントで、アマ無線クラブをアピール

みんないきいき。 サークル交流録 PART 15

「十日町アマチュア無線クラブ」

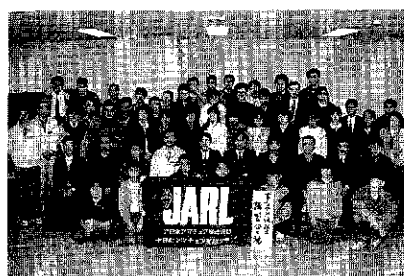
(会長 真霜由紀夫)

アマ無線で交流の輪を広げませんか

自分の声が電波に乗って地球の裏側まで届く、はたまた地球を離れて宇宙まで飛びかう事を想像できますか。見知らぬ土地の見知らぬ人と自由に会話し、友達になれるアマチュア無線は大きな魅力です。

無線を通じたレクリエーション活動を目的にJARL十日町クラブを発足して7年目。日本アマチュア無線連盟公認の地域クラブとして50名の会員が活動しています。電波の発信源を捜す競技、養成課程講習会や忘・新年会そして、町づくりの一助にと雪まつりのPRや火鋸形土器をカードにして全国に十日町を紹介してきました。

アマチュア無線は近年急激に増え、数の上では世界一というハム人口になっています。アマチュアは良き社会人であり、健全で親切であること。そして、進歩的で国際的であることが提唱されています。数が増えるに従い、いろいろな問題が発生しているようです。ぜひ、アマチュア局を開設している人、興味を持っている人は会に登録していただき、正しい情報交流をしてみませんか。会では7月末から2週間、養成課程講習会を開きます。小学生からお年寄りまで、電波で国際交流や全国に友達をつくりたい方、ぜひ受講ください。なお、入会の申し込みは、小川精一(☎57-6682)まで連絡をお願いします。



おおぜいが参加してくれたアマ無線技士講習会

このコーナーは、運動や文化、芸能などを楽しんでいるサークル、クラブなどを紹介するコーナーです。このコーナーで自分たちの頑張っている姿をアピールしてみませんか。

総務課文書広報係
(☎57-3111 内線214)



大観衆の中走者一掃の3塁打を放った大淵選手

大淵隆選手伝統の

早慶戦で大活躍

～早稲田大学野球部で9番3塁の正選手に～

「九番サード大淵、十日町高校」早稲田大学の先発メンバーのアナウンスが神宮の杜にこだま。五月三十・三十一日と神宮球場で行われた伝統の早慶戦で、大淵選手(上新田三・22歳)は大活躍しました。雨のふりしきる初戦では、一回裏二死満塁で走者一掃の三塁打、翌日の試合でも三打数二安打と早大勝利に大きく貢献し、早慶両校の大応援団の中はつらつとしたプレーを展開してくれました。

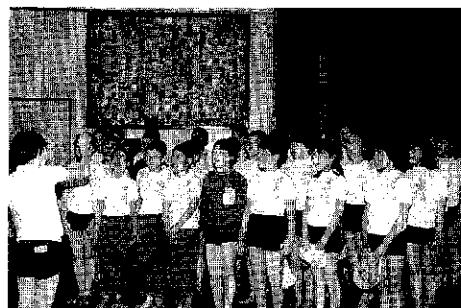
大淵選手は、四年目にして初の春季リーグ戦に三塁の正位置を獲得し、十日町初の六大学でのレギュラー選手となりました。少年野球のメッカ十日町。大淵選手を目指して頑張れ！ちびっこ選手。

昨年児童会のシンボルを作ろうというところで、作曲委員会を中心に全校で案を出し合い、児童会の歌を作りました。昨年の六年生を送る会の時、児童会の歌の発表会をし、初めて全校で歌いました。今では児童朝会をはじめ、児童会の行事の時、指揮もピアノも子供たちがして元気に歌っています。

児童会の歌は「元氣よく」「明るいあいさつ」「生き生き」「助け合い」など、ぼくたちがこうなりたいと思っていることを歌っています。

これからの児童会の歌を歌い続

け、元気で活発な児童会にしていきたいと思っています。



指揮もピアノも自分たち。児童会の歌で元氣ハツラツ



酒井 信 顕さん
(御関芳勤務 吉田山谷・20歳)

青春エンジンジョイ

高校卒業後、すぐ入社して3年目。1年目は出荷部で製品の発送をし、2年目から事業部で振袖の営業を担当しています。明るく、さわやかにテキパキと対応できたいいなあと感じています。お客様から「酒井さんを担当をお願いします」と指名を受けた時は、うれしく思い、頑張らなければと決意を新たにします。

趣味は、ドライブとツーリング。先日会社の同僚と富士山のふもとまでドライブに行ってきた。南アルプスへのツーリングを計画中で、今から楽しみにしています。

十日町の着物は、東京や京都でもけっこう有名なんですよ。きものまつりで、よりおおぜいの人たちから着物を着て参加してもらうなどの工夫をし、イベントを充実していけば「着物のまち＝十日町」というイメージがもっと知られるようになるのではないかと思います。

明日の十日町を担う若者登場コーナーです。このコーナーに登場する人を募集しています。個人・会社の推せんでもかまいません。
■連絡先 総務課文書広報係

保坂 幸子さん
(株ハビネス勤務 姿2・23歳)



成人式で振袖を着てから着物に興味を持ち、着物の知識や技術を身に付けてくUターンして3年目。地元の専門学校で学んだ後、内装が明るく、スペースが広いのが気に入って3月に出来たばかりの今の会社を選びました。仕事は、反物の裁断、柄合わせやへら付けなどで、いろいろな着物のデザインがわたしの目を楽しませてくれます。

旅行とカラオケが好きで、5月末にはディズニーランドに行ってきた。今年の夏は友人と北海道旅行をする予定で、これから計画を立てるのを楽しみにしています。カラオケは、ニューミュージックをよく歌い、今度こぶしの効いた演歌に挑戦しようかなあと考えているんですよ。

総合体育館や市民プールのほかに、気が向いた時、予約無しで卓球などが出来る体育館と、冬でも家族連れで泳げる温水プールがいっしょになったような屋内施設がほしいですね。

わたしのふるさととは、九州大分県の日田市です。徳川時代末期、漢学者で有名な広瀬淡窓先生を輩出した町で、私塾咸宜園や代官所があります。周りを山に囲まれ、町の真中を三隈川が流れる美しい自然に恵まれた山紫水明の地です。昨年の秋の台風でやられましたが、日田杉の名で知られる全国的に有名な林業地帯です。また、椎茸のどんこ、日田漆器の名産地でもあります。

十日町の雪まつり、きものまつりに匹敵する祭り、三隈川の川開きは多くの観光客と市民でにぎわっています。かがり火をたいした百艘余りの屋形船が繰り出し、長良川のう飼いのような鮎取りが行われます。また着物を着た市民が、日田音頭に合せて町中を踊りで練り歩き、華やかな川開きとなります。そして、春らんまんの四月には、三隈川の中州にある桜の名所亀山公園

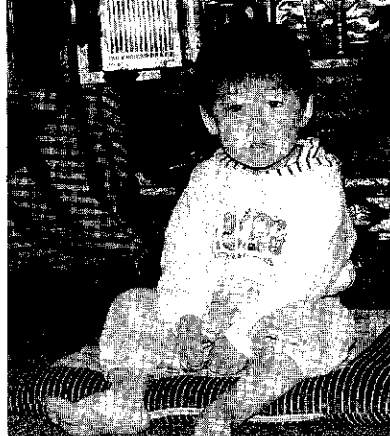


思い出のふるさと No.27



庭野 トクヨ さん
(学校町1・74歳)

出身地 大分県日田市



大きくあーれ

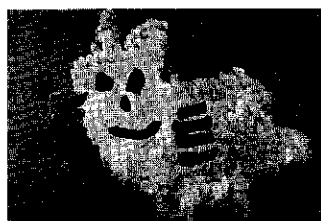
90

(2歳9ヵ月)

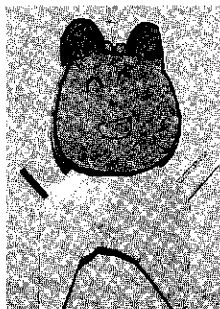
水落祐太郎ちゃん
一男・範子さん長男
(北原)

すぐく人見知りするんで、知らない人がいるとおばあちゃんから離れないんで大変なんだって。でも「おかあさんといっしょ」を見たり、ダンブカーのおもちゃで元気よく遊んでいるよ。

じょうずに揃ったネ!



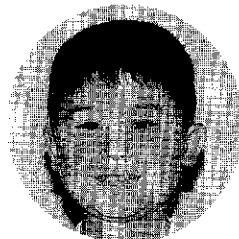
保育所で飼っている「うさぎさん」を描いたよ。白くぬるところがいっぱいでたいいんだった。



初めて作った誕生日カードなの。
かわいい「ねずみ」でしょ。手や足
をつけるのがむずかしかったわ。

鐙島保育所

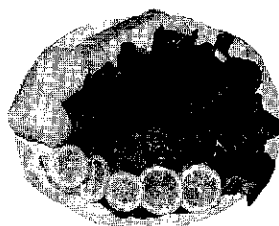
90



柳 尚 宏 (5歳)



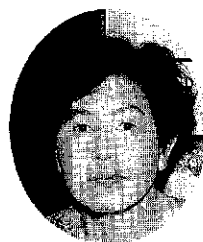
酒井宏美 (5歳)
ちゃん



わが家味 63

〈材料〉(7~8人分)

いわし…20尾、ひじき…1/2
袋弱、万能ねぎ…4～5本、
卵…2個、みそ…大さじ3、
しょうが…少々



小海華子さん
(下条栄町・44歳)
(☎55-2304)

い
わ
し
の
つ
み
れ
風
か
ら
揚
げ

子供たちに大好評の一品です。骨も入れますが細かくするのであまり気になりません。ひじきも入ってカルシウム満点です。冷めてもおいしいので、お弁当にも喜ばれるんですよ。青ジソの葉で巻くとお酒のおつまみにとても合います。

す。レモンを添えてどうぞ！

〈作り方〉①いわしは頭とワタを取って洗い、荒く切ってからカツターですりつぶす。（まな板にとり、包丁で小さくたたき切ってからすり鉢ですつてもよい）

②ねぎともどしたひじきは、細かく切っておく。

③卵は溶いてつなぎにする。

④しょうがはすりおろす。

⑤材料全部をよく混ぜ合わせて一口くらいの大きさにし、熱した油できつね色に揚げる。

※すり身を揚げるとき、ごはん用のしゃもじ二本を使い、すり切るように油に入れると簡単です。



霜垣勝二さん

(麻
畑
・
87
歳)

その昔
そして今

27

おれがそ、十三で学校あがつて、十六の年まで東京の石炭やガスコークスを売っている店屋に^{で、ち}下帷奉公にいったんそ。

その頃、東京にいがんには、朝早く起きて小千谷まで歩いて来迎寺まで軽便に乗って、そこから信越線の夜行で十四時間もかかったて。そのどきのキップ代が二円五十銭ぐらいたったと思わんだとも。

奉公ときは、毎日朝五時から夜なべして十一時頃まで一生懸命かせいだて。そうして盆や正月に小遣いの二十銭か三十銭もらって浅草に芝居を見にいかんがうれしかったの。

こつちに帰つてからは、もともと家が百姓していなかつたんだんが、荒地をだんな様から借りて開墾して、米を作つたり、へりよつとりして稼いだども、年貢が高くてせつなかつたて。そいだんだんが農地開放してもらつたどきが今まで一番うれしかったの。村には青年団でやんががあつて、秋葉山の祭りや、秋の取り入れが終つて若い衆頭もろこしらの家にみんなしてあつまつて、ながしつこで酒を飲んだり、ごつつおをくわんが楽しかつたの。

若いときはあんまり体が丈夫でなかつたども、大病もしなかつたし、去年はみんなの衆から八十八の祝いをしてもらつて、長生きしてほんとうに良かつたての。

今は、毎日のように羽根川莊にいつて風呂に入つていろんな衆と話をしたり、足腰が弱らねように、ボケねようにとゲートボールをやつて一日一万歩を目標に頑張つてらんぞ。今年はおかげで曾孫ひ孫が生れて元氣な顔を見るがんが楽しみてだての。

体育・スポーツ

コーナー

総合体育館(☎52-4377)

市民体力テスト

「コンピュータで体力診断」

- とき 6月26日(金)午後7時30分～9時
- ところ 総合体育館トレーニング室ほか。
- 対象 健康な人ならどなたでもかまいません。
- 費用 300円(診断料)
- 問い合わせ 総合体育館(☎52-4377)へ。



美佐島路健康ウォーク

- とき 6月21日(日) 小雨決行
- 受付 午前8時 来迎寺境内
- 出発 午前9時
- コース 来迎寺→猿倉→菅沼→津池→来迎寺(約12km)
- 参加資格 健康な人(小学校低学年以下は保護者同伴)
- 参加費 200円(保険料含む)

- 申し込み 小林松太郎(田中町 ☎57-8477)へ。当日の参加も受け付けます。

初心者コース ソフトテニス スクール会員募集

- とき 6月13日～10月31日の毎週土曜日 午後7時30分～9時30分
- ところ 城ヶ丘庭球場(雨天の場合は市民体育館)
- 参加資格 主に初心者の人
- 参加費 3,000円(保険料含む。当日持参)
- 申し込み 実施日に直接会場で受け付けします。
- 問い合わせ ソフトテニス連盟 湯沢一彦(本町1上 ☎57-9166)へ。

ウォークラリー大会

「ふるさと再発見」

- とき 6月21日(日) 雨天決行
- 受付 午前9時 競技 午前10時～12時30分
- ところ 十日町市公民館集合
- 参加資格 一チーム2人以上で編成(小学生以上とします)
- 参加費 一人300円(当日受付で納入)
- 持ち物 筆記用具、雨具、歩きやすい服装
- 申し込み 6月16日(火)までに十日町市公民館(☎57-5011)へ申込書を提出してください。

大池「へらぶな釣り」ジュニア大会



小・中学生を対象に楽しい「釣」を手ほどきします。

- とき 6月28日(日) 雨天決行
- 集合 午前6時 競技 6時30分～午後2時
- ところ 大池(現地集合)
- 対象 小・中学生
- 参加費 無料(昼食持参)
- 募集人員 40人
- 申し込み 6月20日(土)までにキジマ釣り具店(駅通り ☎52-2478)または十日町市観光協会(☎57-3345)へ。当日の現地参加もできます。

第3回 十日町市芸術協会 会員展

- とき 6月20日(土)・21日(日)
- 20日 午前9時～午後9時
- 21日 午前9時～午後5時
- ところ 市民体育館(学校町1)
- 入場料 無料
- 展示部門 日本画、洋画、版画、前衛、彫塑、工芸、書道、写真
- 問い合わせ 十日町市公民館(学校町1 ☎57-5011)へ。

国民金融公庫の融資制度

〈事業資金〉～経営多角化ローン(国庫引上げ～)

	国の事業ローン	経営多角化ローン
ご融資限度	4,000万円	5,200万円 ☎ 6,000万円
ご融資期間	運転資金 5年以内 設備資金 10年以内	20年以内
利率	年 6.2%	年 6.2%～6.5%

★国の設備ローンなど特別貸付の設備資金のご融資限度も5,200万円から6,000万円に引き上げられます。

〈国の教育ローン〉～在学資金も150万円に～

	入学資金	在学資金
ご融資限度	150万円	50万円☎150万円 (内枠限度)
ご融資期間	高校、短大、専修学校など…5年以内	大学、高専など…6年以内
利率	年 6.0%	

※融資限度は、学生・生徒1人についてのものです。

■利率 平成4年6月1日現在の内容です。

■問い合わせ 長岡市千手31日9番23号

国民金融公庫長岡支店 ☎0258(36)4360

国保加入の皆さんへ—— 交通事故にあつたら 届け出を

◆交通事故にあつたときの
3つの注意点

①必ず警察に届ける(事故証明書が必要のため)

②国保に「第三者行為による被害届」を提出する。

③国保に相談してから示談する。

◆医療費は加害者が負担
交通事故のように、第三者の行為によってケガをしたときは、加害者がその医療費を負担することになります。

◆国保で治療を受けるとき

「第三者行為による被害届」や「事故証明書」などを提出することが必要です。早めに国保係に連絡や相談してください。

◆示談は慎重に

示談を結んでしまうと、その示談の取り決めの内容が優先することとなり、示談の成立以後は加害者に請求ができなくなる場合があります。示談を結ぶ前に必ず国保係に相談してください。

◆原付バイクも任意保険を

自賠責保険だけでは、損害賠償金に足らず、生活が非常に苦しくなる場合があります。なるべく任意保険にも加入しましょう。

■問い合わせ 保健衛生課国保係(☎内線4)へ。

交通事故 無料相談

■相談日 月・金曜日午前9時30分～午後4時40分

■弁護士相談日 毎週水曜日午後1時～4時

※新潟自動車保険請求相談センタ
I(☎025-251-2225)へ。

公社移動相談会

■問い合わせ 十日町商工会議所(☎57-5111)

- とき 6月23日(火)午後1時～4時
- ところ 十日町商工会議所
- 内容 ①発注に関する相談②下請取引に係る苦情、紛争に関する相談③設備貸与制度・設備近代化資金貸付制度等の各種金融相談など。

家族介護教室

一般公開講座

■とき 6月20日(土)午後2時
～3時30分

■ところ 三好園デイサービスセンター

■内容 介護講座「老人介護に必要な基礎知識」
講師・中山康夫氏(中条病院長)
介護用品展示会同時開催

■参加費 無料

■問い合わせ 三好園デイサービスセンター(☎56-2106)へ。

精神薄弱者更生施設

「やいころの里(仮称)」

入所者募集

■ところ 北魚沼郡小出町大字岡新田300番地3

■入所対象者 15歳以上の精神薄弱者で、生活上保護と指導が必要

要な人。原則として在宅者を優先します。

■入所予定人員 50人(男30人、女20人)

■入所予定日 平成5年4月1日

■費用 本人の収入、家族の課税状況等により決定されます。

税務職員

(税務大学校生)募集

■受験資格 昭和47年4月2日～50年4月1日までに生まれた人

■試験日・内容 第一次試験 9月13日(日) 教養試験、適性試験、作文試験

■申し込み 7月1日(水)～8日(木)までに人事院関東事務局(〒100 東京都千代田区大手町1-3-3 ☎03-324-1621)へ。

警察官(大学卒)募集

■採用予定日 平成5年4月1日

■受験資格 昭和40年4月2日から46年4月1日の間に生まれた男子で、大学(短期大学除く)を卒業した人または来年3月31日までに卒業見込みの人

■試験日 第一次試験 7月19日(日) 新潟県庁

■申し込み 7月3日(金)までに十日町警察署警務課(☎52-3171)へ。

「県民ヘルシー料理コンクール」作品募集

■応募部門 ①ヘルシークッキング(健康面に留意した一食分の家庭料理) ②ファミリークッキング(子供と家族と一緒に考える健康面に留意した一食分の家庭料理)

■申し込み 7月3日(金)までに十日町警察署警務課(☎52-3171)へ。

朗読の勉強会

元NSTアナウンサーの小西慧道さんを講師に迎えて、朗読の勉強会を行います。

■とき 6月20日(土)午後1時30分

■ところ 十日町市公民館

■問い合わせ 数藤洋子(高田町)

3東☎57-4760)へ。

酒害の懇談会

つい酒を飲み過ぎる人、またはそのご家族の会です。

■とき 6月19日(金)午後1時30分～3時

■ところ 十日町保健所

■申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または保健衛生課保健衛生係(☎内線138)へ予約してください。

心の健康相談

■とき 6月26日(金)午後1時30分～3時

■ところ 十日町保健所

■担当 野村医師(田宮病院)

■申し込み 十日町保健所または保健衛生課保健衛生係へ。

6月 交通安全キャンペーン

■梅雨どきの交通事故防止

梅雨時期は、二輪車、自転車などの事故が多発します。傘さし運転や片手運転は絶対にやめましょう。



5 月中の交通事故発生状況 ()は累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	平成4年 21(51)	23(55)	1(1)
	平成3年 29(58)	28(59)	1(1)
川西町	平成4年 11(40)	11(48)	0(0)
津南町	平成3年 13(38)	14(46)	0(1)
計	平成4年 32(91)	34(103)	1(1)
	平成3年 42(96)	42(105)	1(2)

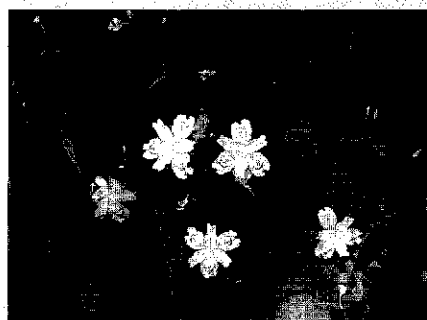
原付バイクと普通貨物トラックが衝突

5月20日(水)午後7時15分ごろ、市道本町西線で55歳の女性が運転する原付バイクと施設から進入してきた57歳の男性の運転する普通トラックが衝突し、女性が重傷を負う事故が発生しました。左右の安全確認をしっかり行いましょう。

とおがまちの自然

(理科センター)

シ ャ ガ ⑬



林の中や湿った日陰を好む高さ30～60cmのアヤメ科の多年草です。葉はアヤメ属では珍しく常緑葉で光沢があり扇状に広がります。

花は径5cmほどで全体が白く、紫斑があり5～6月にかけて花茎が枝分かれています。枝咲きになります。

中国より伝来して日本で野生化したものと考えられています。

シャガに比べ著しく小型なものにヒメシャガがあります。花は淡紫色を帯び、鉢植えにして鑑賞されています。

history

ふる里の歴史散歩

明治九年にガス灯がともる。市史館さんによる。

明治のはじめ、十日町に街灯があり、それはガス灯であったといったら、びっくりする人が多いのではない。明治九年一月の小九区会議で、本町通りに街灯を設置することが決議された。当時の小九区というのは、十日町・原・山本で構成されていた。

十日町中央通りは、当地方の中心で街区も整っており、諸国からの縮商人が入ってくる繁華街であったから、それにふさわしい町づくりが考えられた。それに、肝心な中央通りが、夜になると真暗で提灯を持たずにはとても歩けることなく、そのようなことから危ない事故も時々起こっていた。

街灯設置が決議されると、具体的な対策はさっそく手際よく進められ、二月には県の許可もおりた。雪消えを待って工事にはいり、何とか縮市に間に合わせることでできた。本町通り一之町から四之町まで延長二七五間(約五〇〇㍎)の両側に五基



ずつ、計十基が立ち、種油で灯をともすのとは比較にならぬ明るさで、町民を驚かせた。燃料は原油を精製した石炭油と呼ばれるもので、ガス灯といい、これもめずらしいガラスの筒の中で美しいほのおを見せていた。一基で一晩に十五銭も経費がかかるので、毎晩点灯するわけにはいかず、縮市や祭礼などのときに限っていたようである。この年に原村の湯沢新六が石油精製業を県庁に願ひ出ているが、ガス灯用の製油を計画したものであっただろうか。

ひと

県展で奨励賞に入賞し、
郡市内で四人目の無鑑査



遠田 誠也 さん
(山本町 1・59歳)

遠田さんは、第四十七回県美術展覧会写真部門に「7000本のスノーキャンドル」を応募し、第二十八回展の奨励賞、二十九回展の県展賞に続き三回目の入賞を果たしました。県展賞と奨励賞合わせて三回以上の受賞者が推挙される県展無鑑査に推挙される見通しで、郡市内では九年ぶり四人目、写真部門では初の無鑑査となります。

今回の作品は、夜の雪原に幻想的にともる7000本のスノーキャンドルの数と広さに魅了され、昨年に続き撮ったもので、三年前から研究していた「月」の撮影方法と「二重撮り」の技法を使用しました。だれもが撮影しないのは「月」と考え、最初に撮った満月を知人に見せたところ、写真の中の月の面積の割合が多かったせいか、「これは何」と言われ、そのことが今回の三日目を撮影するきっかけとなりました。撮影の時に心がけていることは失敗しないこと。天候や時刻などを考えながら、その都度、フィルターの交換や露光調整をし、ファインダーをのぞき、写真の構図を練ります。「写真歴が長いだけの初心者なんです」と、屈託の無い笑顔を見せる遠田さんは、写真で自分の世界を模索しています。被写体を前にファインダーをのぞく目は、写真に対する情熱があふれんばかりです。

市の動き

(5月末日現在)

■人	□ 46,045人
	(前月比-17)
男	22,690人
	(〃 +8)
女	23,355人
	(〃 -25)
■世帯数	12,589
	(〃 +8)

今月の表紙

五月三十一日(日)、十日町・下条O.Lパーマネットコーズで第五回新潟県オリエンテering協会大会が行われました。市外から五十四人、市内から三十人が参加。参加者は、地図とコンパスを片手に、やぶの中などに設置されたチェックポイントを探すのに悪戦苦闘。どろだらけになりながらも楽しんでいました。

編集後記

六月に入り、じとじととして気持ちの悪い梅雨の季節がやってきました。ところでなぜか別名この月を水無月といいますが、旧暦ではこの頃が夏の始めだったのでしようか。これからの時期は、また雨による災害等の発生も心配です。充分な注意と安全対策が必要です。広報を担当して三カ月目、なれない取材に、原稿書きにと頭を悩めています。これからも市民の皆様のご協力をお願いします。 ㊟